

ロシア・旧ソ連諸国における会計と企業進出の研究

研究の概要

ロシアにおける社会主義時代から市場経済移行を経て、いかに国際経済の中で投資対象となるかという研究を行ってきた。会計学は世界共通のビジネスの言語であるという見地から、「解説付き日ロ(英)会計用語集」も作成し、経団連、政府系の銀行をはじめ今でも利用されていると聞く。現在では市場経済化における会計をはじめとする用語の変化、ロシアをはじめとする旧ソ連諸国企業への投資のために会計はどのようになっているかということの研究している。

研究の特徴

まず、この領域で現役で研究している研究者は自分自身が唯一である。

1. ロシア、旧ソ連企業の財務分析
2. この周辺領域におけるロシア語用語の整理
3. ロシア、旧ソ連諸国の会計人、起業家、官僚、などへの教育方法の研究

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

経団連、北陸経済連合会、日本国外務省、日本国財務省、中小企業庁などと協力してロシア及び旧ソ連諸国における会計実務教育、また、財務教育などを行ってきた。

研究者からのメッセージ

今は、新型コロナウイルスで世界は大変ですが、ロシア及び旧ソ連諸国の企業は目を離せません。エネルギー産業、石油、ガスについても考察していきたいと思っています。

研究分野 : ロシア会計、ロシア語、旧ソ連諸国

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学経済学部 経済学科・教授・齊藤久美子

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp